



平成30年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成29年11月13日

上場会社名 兼房株式会社

上場取引所 東名

コード番号 5984 URL <http://www.kanefusa.co.jp>

代表者 (役職名) 代表取締役 社長執行役員 (氏名) 渡邊 将人

問合せ先責任者 (役職名) 取締役 常務執行役員 (氏名) 鈴木 仁

四半期報告書提出予定日 平成29年11月13日 配当支払開始予定日 平成29年12月5日

TEL 0587-95-2821

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有

四半期決算説明会開催の有無 : 有 (機関投資家、アナリスト向け)

(百万円未満切捨て)

1. 平成30年3月期第2四半期の連結業績(平成29年4月1日～平成29年9月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
30年3月期第2四半期	9,375	8.9	831	88.0	853	313.5	602	848.9
29年3月期第2四半期	8,605	△5.7	442	△35.4	206	△67.1	63	△83.4

(注) 包括利益 30年3月期第2四半期 503百万円 (—%) 29年3月期第2四半期 △824百万円 (—%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
30年3月期第2四半期	43.37	—
29年3月期第2四半期	4.57	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
30年3月期第2四半期	27,207	22,395	82.3	1,611.11
29年3月期	26,329	22,065	83.8	1,587.42

(参考) 自己資本 30年3月期第2四半期 22,395百万円 29年3月期 22,065百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
29年3月期	—	7.50	—	12.50	20.00
30年3月期	—	7.50	—	—	—
30年3月期(予想)	—	—	—	16.50	24.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成30年3月期の連結業績予想(平成29年4月1日～平成30年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	18,770	1.9	1,520	3.7	1,560	16.0	1,110	19.3	79.85

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
新規 — 社 (社名) 、 除外 — 社 (社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有

(注)詳細は、添付資料P.9「2. 四半期連結財務諸表及び主な注記(4)四半期連結財務諸表に関する注記事項(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)」をご覧ください。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

- ① 期末発行済株式数(自己株式を含む)
- ② 期末自己株式数
- ③ 期中平均株式数(四半期累計)

30年3月期2Q	14,310,000 株	29年3月期	14,310,000 株
30年3月期2Q	409,539 株	29年3月期	409,539 株
30年3月期2Q	13,900,461 株	29年3月期2Q	13,900,461 株

※四半期決算短信は四半期レビューの対象外です

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来に関する記述等についてのご注意)

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料P. 3「1. 当四半期決算に関する定性的情報 (3)連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

(四半期決算補足説明資料及び四半期決算説明会内容の入手方法について)

当社は、平成29年12月5日(火)に機関投資家及びアナリスト向け説明会を開催する予定です。
当日使用する四半期決算説明資料は、開催後速やかに当社ウェブサイトに掲載する予定です。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第2四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第2四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	8
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	9
(継続企業の前提に関する注記)	9
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	9
(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)	9
(セグメント情報)	9
3. 補足情報	11
(1) 販売の状況(製品別売上高、国内・海外別売上高)	11

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間における世界経済は、米国では良好な雇用・所得環境が個人消費を牽引し、企業収益が改善するなか設備投資も緩やかに持ち直しています。欧州では個人消費は力強さを欠きますが、輸出の増加が景気を下支えています。また新興諸国も総じて回復基調をたどっています。一方、わが国経済は雇用・所得環境改善により個人消費が緩やかに増加し、企業の景況感も改善していますが、設備投資には依然慎重な姿勢が見られません。

このような状況の下、当社グループは、海外生産の増強、グローバル市場での販売拡大、国内住宅関連市場の占有率拡大や非住宅関連市場の開拓などを目指し、戦略的な製品開発、生産、営業活動を展開いたしました。国内における売上は、住宅関連刃物、非住宅関連刃物ともに前年同期から増加となりました。一方、海外での売上も、米国市場、欧州市場、中国市場などが増加し、当第2四半期連結累計期間の売上高は93億7千5百万円（前年同期比8.9%増）となりました。

利益面につきましては、生産性向上など売上原価率が改善したことなどから、営業利益は8億3千1百万円（前年同期比88.0%増）となり、営業外収益で為替差益1千9百万円（前年同期は為替差損2億3千5百万円）を計上したことなどから、経常利益は8億5千3百万円（前年同期比313.5%増）、親会社株主に帰属する四半期純利益は6億2百万円（前年同期比848.9%増）となりました。

セグメントの業績は、次のとおりであります。

① 日本

国内向け、海外向けともに自動車関連刃物などが増加したことなどから、売上高は75億6千7百万円（前年同期比10.0%増）となり、生産性向上など売上原価が改善したことなどにより、営業利益は3億7千4百万円（前年同期は営業損失1千9百万円）となりました。

② インドネシア

木工関連刃物などが減少し、売上高は12億7千万円（前年同期比9.5%減）となり、売上原価率の上昇などから、営業利益は1億3百万円（前年同期比39.9%減）となりました。

③ 米国

自動車関連刃物などが増加し、売上高は7億4千4百万円（前年同期比12.6%増）となりましたが、営業利益は6千万円（前年同期比8.8%減）となりました。

④ 欧州

自動車関連刃物などが増加し、売上高は10億3千5百万円（前年同期比23.8%増）、営業利益は1億1千9百万円（前年同期比26.5%増）となりました。

⑤ 中国

自動車関連刃物などが増加し、売上高は10億5千4百万円（前年同期比10.9%増）となり、売上原価が改善したことなどにより、営業利益は1億8百万円（前年同期比44.6%増）となりました。

なお、セグメント別の売上高は、セグメント間の内部売上高を含めて記載しております。

(2) 財政状態に関する説明

(資産)

当第2四半期末における総資産は、前連結会計年度末（以下「前期末」という。）に比べて8億7千8百万円増加して272億7百万円となりました。流動資産は現金及び預金などが増加し、前期末比8億6千2百万円増加の140億7千1百万円となりました。固定資産は投資その他の資産などが増加し、前期末比1千6百万円増加の131億3千5百万円となりました。

(負債)

負債は、支払手形及び買掛金が増加したことなどにより、前期末比5億4千9百万円増加の48億1千2百万円となりました。

(純資産)

純資産は、利益剰余金が前期末比4億2千9百万円増加し、その他の包括利益累計額が前期末比9千9百万円減少したことにより、前期末比3億2千9百万円増加の223億9千5百万円となりました。また、自己資本比率は前期末の83.8%から82.3%となりました。

(キャッシュ・フローの状況)

当第2四半期連結累計期間における現金及び現金同等物(以下「資金」という。)は、前連結会計年度末に比べ8億7千3百万円増加し、当第2四半期末には44億2千9百万円となりました。

各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は次のとおりであります。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動の結果得られた資金は16億7千5百万円(前年同期比103.7%増)となりました。これは主に、売上債権の増加で1億2千9百万円、法人税等の支払で1億4千5百万円の減少要因があったものの、税金等調整前四半期純利益が8億5千2百万円となり、減価償却費で7億5千6百万円、仕入債務の増加で2億9千8百万円の増加要因があったことなどによるものであります。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動の結果使用した資金は5億9千7百万円(前年同期比52.2%減)となりました。これは主に、有形固定資産の取得による支出で5億5千2百万円、無形固定資産の取得による支出で3千2百万円の支出があったことなどによるものであります。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動の結果使用した資金は1億7千4百万円(前年同期比67.2%増)となりました。これは、配当金の支払額が1億7千3百万円あったことなどによるものであります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

通期の連結業績予想につきましては、平成29年11月7日に公表いたしました業績予想に変更はありません。

連結売上高187億7千万円、営業利益15億2千万円、経常利益15億6千万円、親会社株主に帰属する当期純利益11億1千万円を見込んでおります。

なお、業績予想につきましては、現時点で入手可能な情報に基づき当社が判断した見通しであり、実際の業績等は様々な要因により予想値と異なる場合があります。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成29年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成29年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	3,563,239	4,436,829
受取手形及び売掛金	4,887,886	4,990,422
商品及び製品	1,722,877	1,714,342
仕掛品	864,853	922,544
原材料及び貯蔵品	1,732,515	1,616,364
その他	460,570	408,265
貸倒引当金	△22,126	△16,793
流動資産合計	13,209,814	14,071,975
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	4,241,035	4,104,801
機械装置及び運搬具(純額)	4,995,386	4,814,259
その他(純額)	2,312,603	2,469,205
有形固定資産合計	11,549,024	11,388,266
無形固定資産	433,724	465,668
投資その他の資産	1,136,529	1,281,949
固定資産合計	13,119,278	13,135,884
資産合計	26,329,093	27,207,859

(単位:千円)

	前連結会計年度 (平成29年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成29年9月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	1,714,405	2,009,531
未払法人税等	76,538	183,594
賞与引当金	361,120	360,384
その他	1,257,416	1,349,137
流動負債合計	3,409,481	3,902,649
固定負債		
退職給付に係る負債	291,861	285,805
その他	561,826	624,196
固定負債合計	853,688	910,001
負債合計	4,263,169	4,812,650
純資産の部		
株主資本		
資本金	2,142,500	2,142,500
資本剰余金	2,167,890	2,167,890
利益剰余金	17,041,481	17,470,568
自己株式	△208,600	△208,600
株主資本合計	21,143,270	21,572,357
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	381,417	479,737
為替換算調整勘定	611,367	386,049
退職給付に係る調整累計額	△70,132	△42,935
その他の包括利益累計額合計	922,653	822,852
純資産合計	22,065,924	22,395,209
負債純資産合計	26,329,093	27,207,859

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
 (四半期連結損益計算書)
 (第2四半期連結累計期間)

(単位:千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成28年4月1日 至平成28年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成29年4月1日 至平成29年9月30日)
売上高	8,605,259	9,375,180
売上原価	6,012,843	6,233,841
売上総利益	2,592,416	3,141,338
販売費及び一般管理費	2,150,207	2,310,104
営業利益	442,208	831,234
営業外収益		
受取利息	2,152	3,150
受取配当金	10,014	11,805
為替差益	—	19,696
デリバティブ評価益	3,580	—
その他	6,542	16,039
営業外収益合計	22,290	50,691
営業外費用		
売上割引	21,255	22,527
為替差損	235,118	—
デリバティブ評価損	—	3,372
その他	1,621	2,101
営業外費用合計	257,995	28,001
経常利益	206,504	853,924
特別利益		
固定資産売却益	676	436
特別利益合計	676	436
特別損失		
固定資産除却損	6,458	1,505
固定資産売却損	317	447
特別損失合計	6,775	1,952
税金等調整前四半期純利益	200,404	852,408
法人税等	136,875	249,565
四半期純利益	63,528	602,842
非支配株主に帰属する四半期純利益	—	—
親会社株主に帰属する四半期純利益	63,528	602,842

(四半期連結包括利益計算書)
(第 2 四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第 2 四半期連結累計期間 (自 平成28年 4 月 1 日 至 平成28年 9 月 30 日)	当第 2 四半期連結累計期間 (自 平成29年 4 月 1 日 至 平成29年 9 月 30 日)
四半期純利益	63,528	602,842
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	10,569	98,319
為替換算調整勘定	△915,379	△225,317
退職給付に係る調整額	16,975	27,196
その他の包括利益合計	△887,834	△99,801
四半期包括利益	△824,306	503,040
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	△824,306	503,040
非支配株主に係る四半期包括利益	—	—

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位:千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成28年4月1日 至平成28年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成29年4月1日 至平成29年9月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	200,404	852,408
減価償却費	736,872	756,801
賞与引当金の増減額 (△は減少)	△17,090	△152
貸倒引当金の増減額 (△は減少)	5,725	△4,363
退職給付に係る負債の増減額 (△は減少)	38,060	36,167
受取利息及び受取配当金	△12,167	△14,955
為替差損益 (△は益)	254,454	△36,434
固定資産売却損益 (△は益)	△358	10
売上債権の増減額 (△は増加)	117,023	△129,595
たな卸資産の増減額 (△は増加)	105,130	28,369
仕入債務の増減額 (△は減少)	△132,239	298,477
未払又は未収消費税等の増減額	78,668	△104,557
その他	△277,781	124,251
小計	1,096,702	1,806,426
利息及び配当金の受取額	12,200	14,945
法人税等の支払額又は還付額 (△は支払)	△286,203	△145,519
営業活動によるキャッシュ・フロー	822,700	1,675,852
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産の取得による支出	△1,216,221	△552,238
有形固定資産の売却による収入	9,495	1,352
有形固定資産の除却による支出	△610	△71
無形固定資産の取得による支出	△11,833	△32,700
投資有価証券の取得による支出	△5,357	△5,583
関係会社出資金の払込による支出	△41,298	—
貸付けによる支出	—	△9,225
貸付金の回収による収入	17,600	1,141
その他	—	146
投資活動によるキャッシュ・フロー	△1,248,224	△597,180
財務活動によるキャッシュ・フロー		
リース債務の返済による支出	—	△607
配当金の支払額	△104,253	△173,755
財務活動によるキャッシュ・フロー	△104,253	△174,362
現金及び現金同等物に係る換算差額	△225,065	△30,719
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	△754,843	873,590
現金及び現金同等物の期首残高	3,191,456	3,556,319
現金及び現金同等物の四半期末残高	2,436,612	4,429,909

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)

税金費用については、当第2四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。

ただし、当該見積実効税率を用いて税金費用を計算すると著しく合理性を欠く結果となる場合には、法定実効税率を使用する方法によっております。

(セグメント情報)

I 前第2四半期連結累計期間(自平成28年4月1日至平成28年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント					
	日本	インドネシア	米国	欧州	中国	計
売上高						
外部顧客への売上高	5,463,671	1,164,875	660,913	836,941	470,274	8,596,677
セグメント間の内部売上高又は振替高	1,413,144	239,145	—	—	479,871	2,132,161
計	6,876,816	1,404,020	660,913	836,941	950,145	10,728,838
セグメント利益又は損失(△)	△19,001	171,955	66,724	94,576	75,218	389,473

	その他(注)1	合計	調整額(注)2	四半期連結損益計算書計上額(注)3
売上高				
外部顧客への売上高	8,582	8,605,259	—	8,605,259
セグメント間の内部売上高又は振替高	90	2,132,251	△2,132,251	—
計	8,672	10,737,510	△2,132,251	8,605,259
セグメント利益又は損失(△)	2,747	392,221	49,987	442,208

(注)1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、損害保険代理店業務などであります。

2. セグメント利益又は損失の調整額49,987千円には、セグメント間取引消去△56,490千円、棚卸資産の調整額110,679千円、その他△4,201千円が含まれております。

3. セグメント利益又は損失は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

II 当第2四半期連結累計期間(自平成29年4月1日至平成29年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント					
	日本	インドネシア	米国	欧州	中国	計
売上高						
外部顧客への売上高	5,747,869	991,250	744,226	1,035,831	589,236	9,108,413
セグメント間の内部売上高又は振替高	1,819,694	279,155	—	—	464,787	2,563,637
計	7,567,564	1,270,406	744,226	1,035,831	1,054,023	11,672,051
セグメント利益	374,649	103,381	60,820	119,675	108,778	767,305

	その他 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 3
売上高				
外部顧客への売上高	266,766	9,375,180	—	9,375,180
セグメント間の内部売上高又は振替高	90	2,563,727	△2,563,727	—
計	266,856	11,938,908	△2,563,727	9,375,180
セグメント利益	29,114	796,419	34,814	831,234

(注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、インド及びブラジルの現地法人の事業活動等を含んでおります。

2. セグメント利益又は損失の調整額34,814千円には、セグメント間取引消去67,691千円、棚卸資産の調整額△31,849千円、その他△1,026千円が含まれております。

3. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

3. 補足情報

(1) 販売の状況

① 製品別売上高

(単位：百万円、%)

	前第2四半期実績		当第2四半期実績		前年同期比 (%)	30年3月期計画	
	金額	構成比	金額	構成比		金額	構成比
平刃類	2,919	33.9	2,936	31.3	0.6	5,750	30.6
精密刃具類	1,915	22.3	1,989	21.2	3.8	4,150	22.1
丸鋸類	3,627	42.2	4,320	46.1	19.1	8,630	46.0
商 品	142	1.6	128	1.4	△9.8	240	1.3
合 計	8,605	100.0	9,375	100.0	8.9	18,770	100.0

② 国内・海外別売上高

(単位：百万円、%)

	前第2四半期実績		当第2四半期実績		前年同期比 (%)	30年3月期計画	
	金額	構成比	金額	構成比		金額	構成比
国 内	4,744	55.1	5,051	53.9	6.5	10,210	54.4
海 外	3,860	44.9	4,324	46.1	12.0	8,560	45.6
アジア	2,049	23.8	2,084	22.2	1.7	4,140	22.1
アメリカ	834	9.7	1,007	10.8	20.8	2,000	10.7
ヨーロッパ	901	10.5	1,137	12.1	26.2	2,250	11.9
その他	74	0.9	94	1.0	26.6	170	0.9
合 計	8,605	100.0	9,375	100.0	8.9	18,770	100.0